

本説明書は、ドレンアップセットの据付方法を記載してあります。

ドレン配管工事の注意事項他、室内ユニット据付工事説明書を厳守して工事を行ってください。

安全上のご注意

- 据付工事は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、**△警告**、**△注意**に区分していますが、誤った据付けをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいものを特に**△警告**の欄にまとめて記載しています。しかし、**△注意**の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ここで使われる“図記号”の意味は右のとおりです。**⊘絶対に行わない** **⚠必ず指示に従い行う**
- この据付説明書はお客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に据付説明書等をお渡しいただくよう依頼してください。

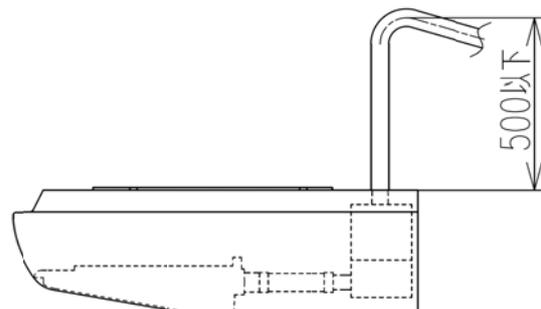
△ 警告

- 据付けは、お買い上げの販売店又は専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災、ユニット落下によるケガの原因になります。 **⚠**
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付けに不備があると破裂・ケガの原因となり、また水漏れや感電・火災等の原因になります。 **⚠**
- 元電源を切った後に電気工事を行う。
感電、故障や動作不良の原因になることがあります。 **⚠**

△ 注意

- 設置場所環境に揮発性可塑剤(DOP)等の発生の恐れがある場所には設置しない。
ドレンパン溶損原因となりますので注意してください。 **⊘**
- ドレン配管は下り勾配(1/100以上)とし、途中山越えやトラップを作らない。また、ドレン配管にエア抜きは、絶対に設けない。
以上の注意点を守らないと排水不良となり、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。 **⊘**
- 冷媒配管・ドレン配管の断熱は結露しないように確実にを行う。不完全な断熱施工を行うと配管等表面が結露して、露たれ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になることがあります。 **⚠**
- ドレンポンプを使用の場合は定期的に内部洗浄を実施する。
一年以上清掃を行わないと故障して排水できなくなる場合があります。 **⚠**
- ドレンアップ高さは、ユニット上面から最大 500mm を超えないこと。 **⊘**

経年使用していくと性能は低下していきます。制限を超えて設置するとエアコンの運転ができなくなる場合があります。



据付けのまえに

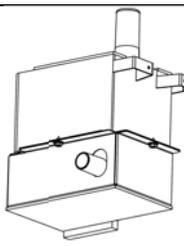
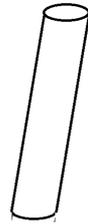
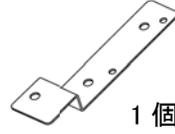
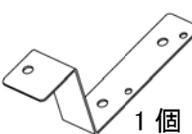
●ドレンポンプ装着時は、冷媒配管は上抜きのみとなります。下表を参照し機種に適合する上抜き配管セット(別売品)をご利用願います。

●適用機種

| 適用機種 | ドレンアップセット品番 | 上抜き配管セット品番 | 仕様 |
|---|-------------|------------|------------------|
| FDEVXP40 ~ P63 4形 FDEP36~P56 4LXB形 | HA07257 | HA04950 | φ6.35/φ12.7 フレア |
| FDEVXP71 ~ P160 4形 FDEP71~P160 4LXB形 | | HA04951 | φ9.52/φ15.88 フレア |

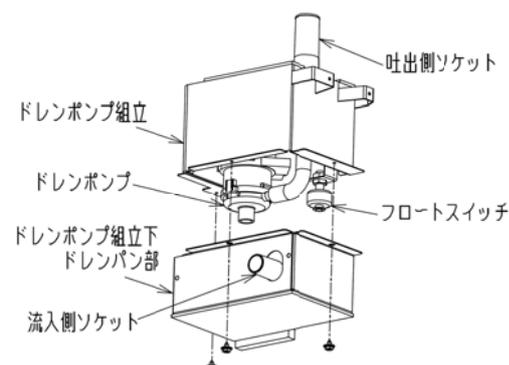
●次の部品があることを確認してください。

付属品

| ①ドレンポンプ | ②ドレンホース | | ③異径ソケット | ⑤パイプカバー | ⑥バンド | ⑧取付ブラケットセット | |
|--|--|--|--|---|--|--|--|
|  | ホース A  | ホース B  |  1 個 | 長さ 25mm 1 本 150mm 1 本 350mm 1 本  | 小 9 本 大 6 本  | ブラケット(小) FDEVXP40~P804 FDEP36~P904LXB  | ブラケット(大) FDEVXP112~P1604 FDEP112~P1604LXB  |
| 1 個 | 1 個 | 1 個 | ④クランプ  1 個 | | ⑦ねじ  3 個 | インシュレーション  1 個 | ねじ  2 個 |

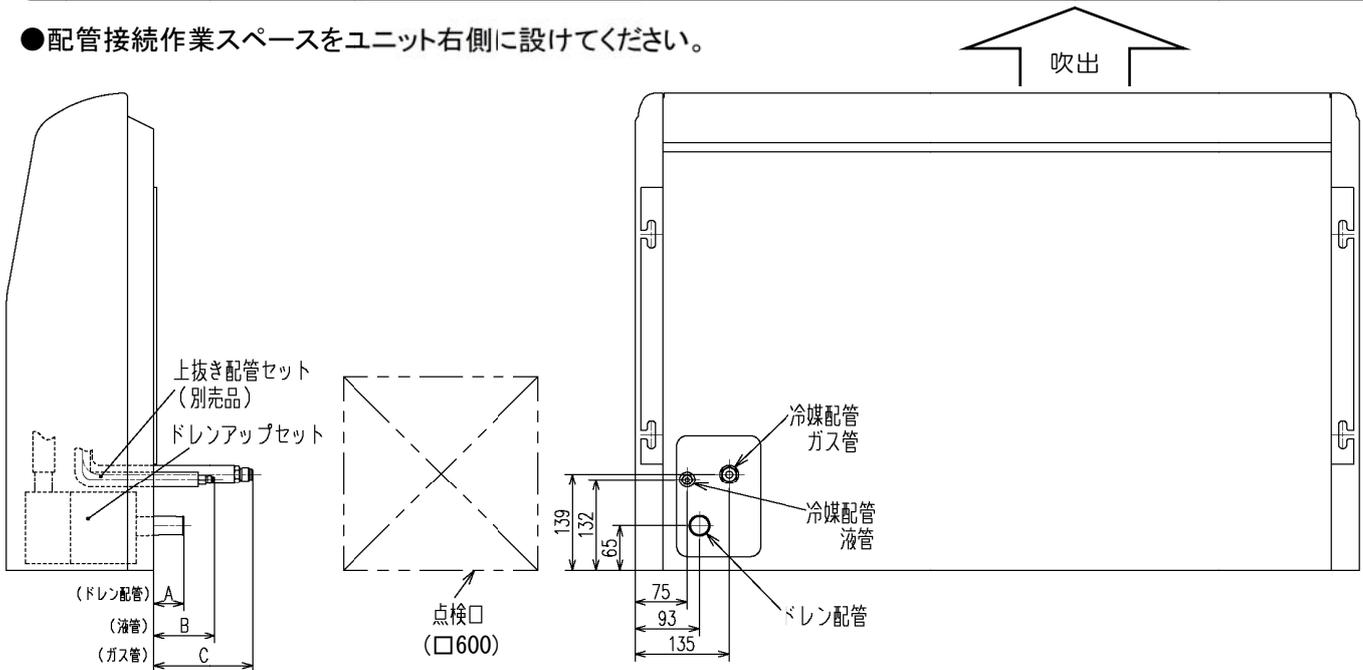
取付手順

- 1) 上面(外側)から上抜き配管穴カバーを取外します。⇒(1)
- 2) エアコン本体を吊り込みます。⇒本体据付工事説明書参照
- 3) 上抜き用冷媒配管を接続します。(ガス配管・液配管)⇒上抜き配管セット取付説明書参照
- 4) 冷媒配管気密・ガス漏れ確認後、配管断熱を行います。⇒本体据付工事説明書参照
- 5) ドレンポンプの上面へ⑧ブラケットを取付けます。⇒(2)
- 6) ②ドレンホース A の硬質側ソケットに③異径ソケットを接着します。⇒(3)
- 7) ドレンポンプ組立吐出側ソケットに②ドレンホース A を④クランプで固定します。⇒(4)
- 8) ドレンポンプ組立流入側ソケットに、②ドレンホース B を接続します。⇒(6)
- 9) エアコン本体にドレンポンプ組立を取付けます。⇒(7)
- 10) エアコン本体側ドレンパンに②ドレンホース B を接続します。⇒(8)
- 11) エアコン本体コントロールボックス内、基板上 CNI から短絡線を外します。⇒(9)
- 12) ドレンポンプ・フロートスイッチ配線を本体コントロールボックス内、基板上の CNI(青コネクタ)へ接続します。⇒(10)
- 13) ドレンポンプ配線をエアコン本体コントロールボックス内、基板上の
GNR(白コネクタ)へ接続します。⇒(11)
- 14) 配線は付属の⑥バンド(小)で結束してまとめてください⇒(12)
- 15) ドレンポンプの排水確認をします。⇒(13)
- 16) ドレン配管水漏れ確認後、②ドレンホース A 及び立て管以降の
配管断熱を行います。⇒(14)
- 17) ドレン配管水漏れ確認後、②ドレンホース B の配管断熱を行います。⇒(15)
- 18) 配管貫通穴のすき間を埋めて、小動物の侵入を防止してください。



ドレンアップセット装着時の配置

●配管接続作業スペースをユニット右側に設けてください。

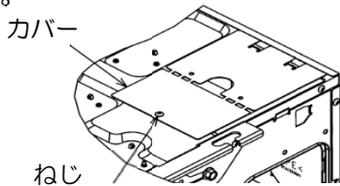


| 適用機種 | A | B | C |
|--------------------|----|----|-----|
| FDEVXP40～P80 4形 | 44 | 89 | 144 |
| FDEP36～P90 4LXB形 | 4 | 49 | 99 |
| FDEVXP112～P160 4形 | | | |
| FDEP112～P160 4LXB形 | | | |

冷媒配管・ドレンポンプ配管部の点検用に点検口の設置を行ってください。

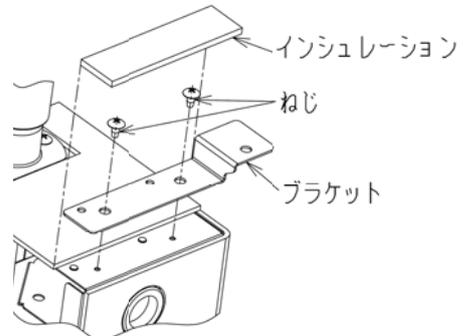
ドレンアップセット装着 ドレン配管工事

(1)上面(外側)から
上抜き配管穴カバー
を取外します。



(2)ドレンポンプの上面へ

⑧ブラケットを取付け
ます。
⑧ブラケットは、取付ける
ユニットに合わせ大小使
い分け、インシュレーシ
ョンを貼付けます。



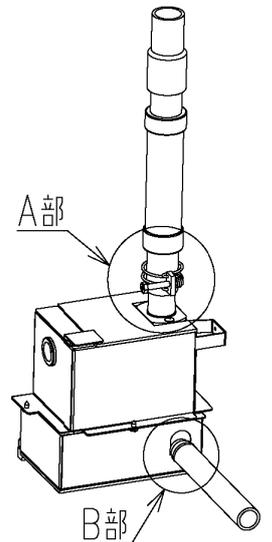
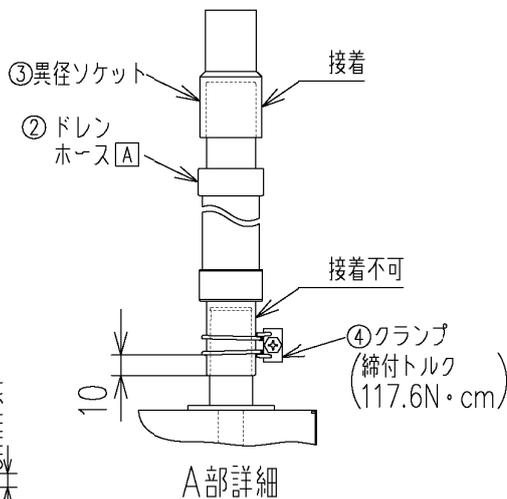
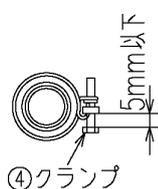
(3)②ドレンホース Aの硬質側に③異径ソケットを
接着(塩ビ管用)します。

(4)ドレンポンプ組立吐出側ソケットの段差部まで
②ドレンホース Aの軟質側を装着し④クランプ
で固定します。

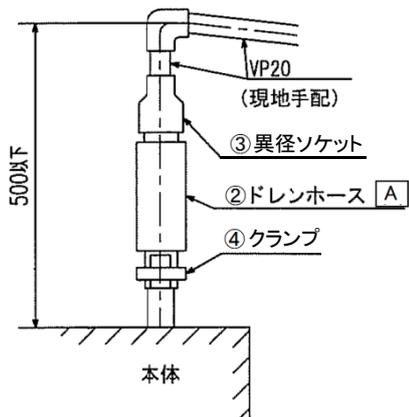
<接着剤使用は不可>

接着剤によってドレンポンソケットが軟化し、
水漏れする原因になります。

注意: クランプはホース先端部より
10mm 程度のところに取付け
ねじの締めが5mm 以下とな
るまで締め込んでください。

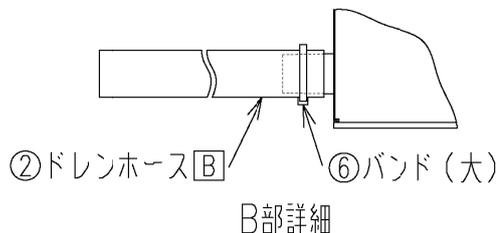


(5) ③異径ソケットに VP20(現地手配)を
接着・接続してください。



(上抜きドレンホースの接続)

(6) ドレンポンプ組立流入側ソケットに、②ドレンホース
Bを挿入して⑥バンド(大)で固定します。(B部)

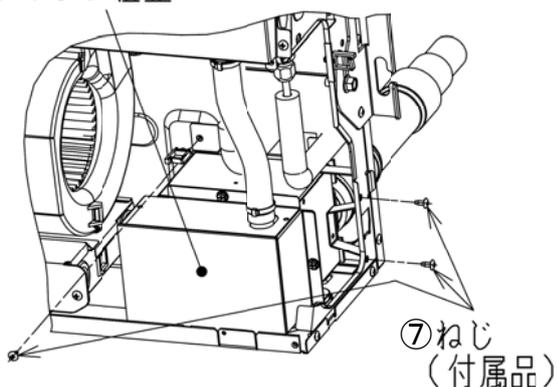


B部詳細

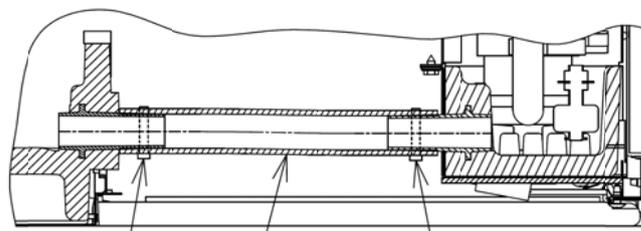
(7) ドレンポンプ組立をエアコン本体に組み込みます。
天板側1箇所、側板側2箇所を⑦ねじで止めます。

注意：配線の噛み込みの無いように注意してください。

ドレンポンプ組立



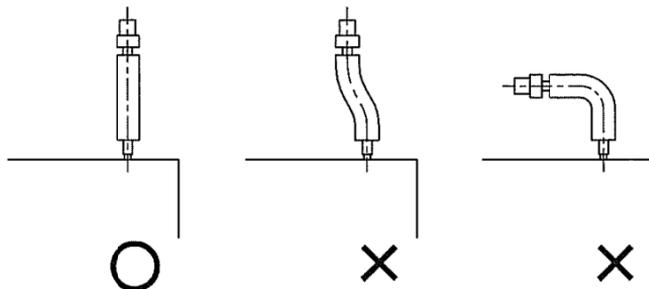
(8) エアコン本体側ドレンパンソケットへ②ドレン
ホース Bを挿入し⑥バンド(大)で固定します。



⑥バンド(大) ②ドレンホース B ⑥バンド(大)

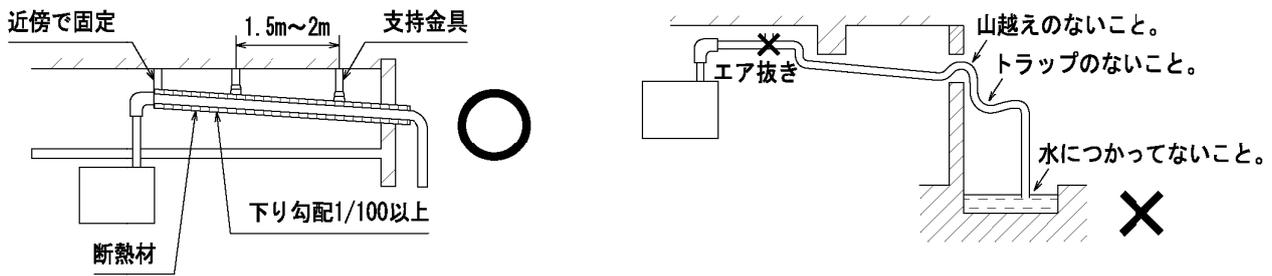
注意：②ドレンホース Aは、ユニットあるいは、ドレン配管の据付時の微少なずれを吸収するためのものです。故意に曲げたり、引っばって使用された場合、破損し、水漏れに至る場合があります。

特にドレン工事後に室内ユニット位置を調整した場合はドレンホースに無理な力がかかっている場合がありますのでドレンホースを垂直になるようにドレン配管を調整してください。

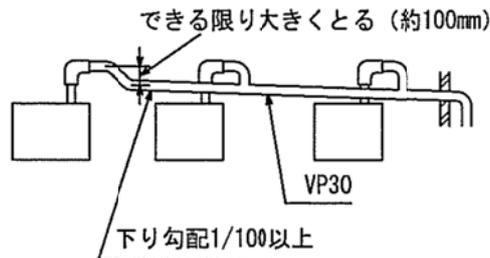


注意 :ドレン配管を接続する場合にユニット側の配管に力を加えないように注意して行い、できる限りユニット近傍で配管を固定してください。

ドレン配管は下り勾配(1/100以上)とし途中山越えやトラップを作らないでください。また、ドレン配管先端が水につからないようにしてください。エア抜きは絶対に設けないようにしてください。

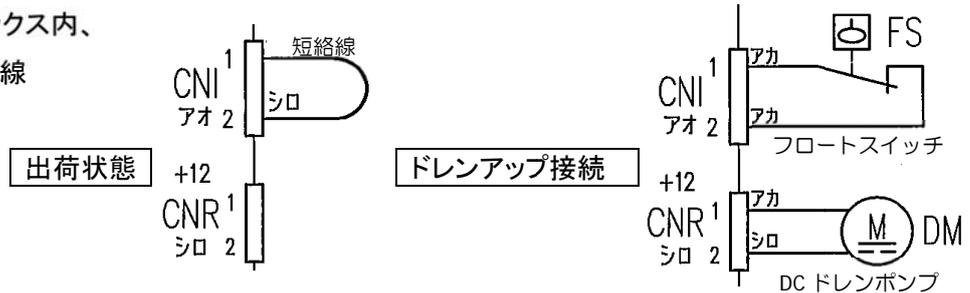


注意 :複数台のドレン配管の場合は図のように、本体ドレン出口より約 100mm 下に集合管がくるようにしてください。また集合管はVP30以上を使用してください。



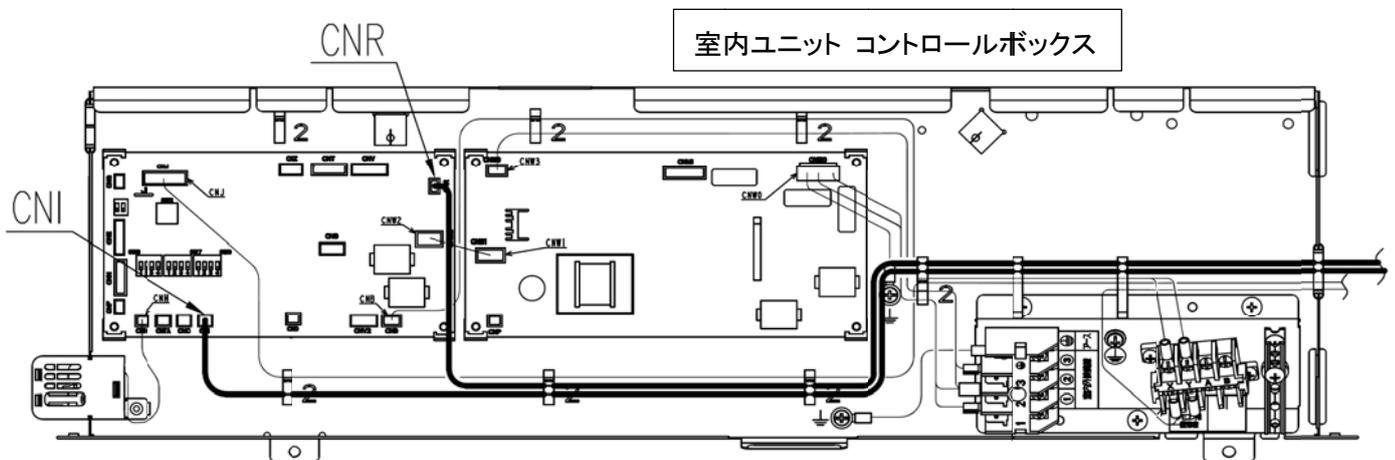
配線の接続

(9)エアコン本体コントロールボックス内、
基板上コネクタ CNI から短絡線
(白線)を外します。



(10)ドレンポンプ組立から出ている配線(青コネクタ・赤線)をエアコン本体コントロールボックス内、基板上コネクタ CNI へ接続します。

(11)ドレンモータ配線(白コネクタ)を基板上の CNR へ接続します。



(12)余った配線は付属の⑥バンド(小)で結束してまとめてください。

(注)余った配線がモータに巻き込まれないようにしてください。

排水テスト

(13) ドレン配管工事の完了後に、排水が確実に行われていることと、接続部及び、ユニットのドレンパン部から水漏れのないことを確認してください。

●冷房運転中にエアコン本体吹出口よりポンプなどを使用して、表中の確認時の注水量を参考に水を徐々に注水し、ドレン排水しているか排水出口部でご確認ください。

●ドレンポンプ試運転は、リモコンまたは室内コントローラ基板のSW7-1を“ON”に切替えると強制運転(冷房)ができます。

(確認後はスイッチの戻し忘れにご注意ください)

※電源がない場合は(別売品)ドレンポンプ試運転用チェッカ(HA06722)を使用して確認することが可能です。

注意: ドレンポンプの回転音を確認しながら排水するかどうかをテストしてください。

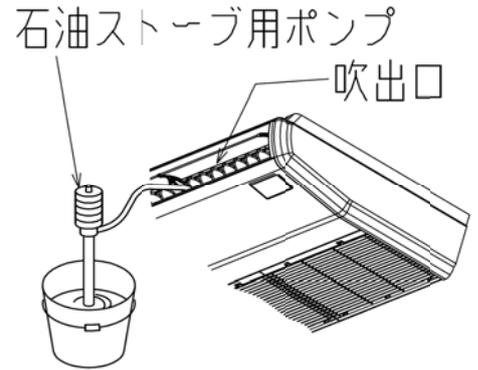
●冷房運転停止後、残留ドレン水が排水されますので、

すぐに電源(ブレーカ)を切らないでください。電源を切る場合は必ず5分以上待ってください。

●ドレンポンプ停止後、立て管以上のもどり水がないことを確認してください。

●暖房期の据付けの際にも必ず実施してください。

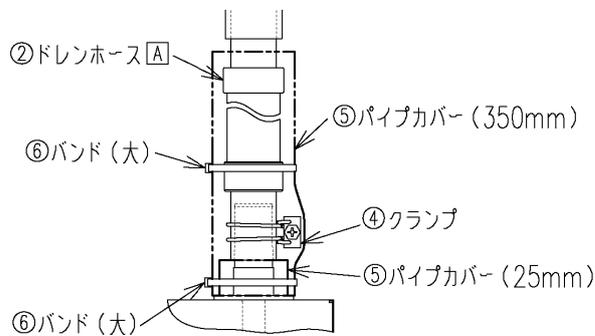
●新築の場合には天井を張る前に実施してください。



| 機種 | 溜まる水量 | 確認時の注水量 |
|---|---------|---------|
| FDEVXP40～P56 4形 FDEP36～P56 4LXB形 | 1,600cc | 2,500cc |
| FDEVXP63～P80 4形 FDEP71～P90 4LXB形 | 2,000cc | 3,000cc |
| FDEVXP112～P160 4形 FDEP112～P160 4LXB形 | 2,500cc | 4,000cc |

(14) ドレン配管水漏れ確認後、②ドレンホース **A** 及び立て管以降の配管断熱を行います。

⑤パイプカバーを巻き⑥バンド(大)2本で固定します。



(15) ドレン配管水漏れ確認後、②ドレンホース **B** の配管断熱を行います。

⑤パイプカバーを巻き⑥バンド(大)2本で固定します。

